

名神名阪連絡道路有識者委員会（第2回）議事概要

1. 日 時

令和6年11月20日（水） 14:00～15:30

2. 場 所

滋賀県庁危機管理センター 災害対策室3・4

3. 出席者（五十音順、敬称略）

〔委員長〕立命館大学教授 小川 圭一

〔委員〕三重大大学教授 朝日 幸代

一般社団法人滋賀県トラック協会 女子部会長 平川 千波

立命館大学教授 深川 良一

（名城大学教授 松本 幸正 【欠席のため意見紹介】）



4. 目 的

本委員会は、早期の効果発現に向けた優先区間の設定について議論いただくもの

5. 議 事

（1）第1回住民等意見聴取（PI）の結果報告、（2）早期の効果発現に向けた提案、（3）今後の進め方について

6. 委員からの主な意見

（1）第1回住民等意見聴取（PI）の結果報告

- ・防災や物流への期待はもとより、安全性の確保や早期完成を望む意見が多いことが再確認できた
- ・甲賀市、伊賀市の住民が安全面を課題に挙げている理由として、幹線道路の歩道が整備されていないことや、生活道路に通過交通が流入することが考えられる
- ・大規模災害時において、高規格道路があると地域の復旧が早まる

（2）早期の効果発現に向けた提案

- ・早期の効果発現のために、優先区間を設定することは有効
- ・災害時の物資輸送は、広域での迂回が必要。広域的な視点での調査検討も実施すべき
- ・通過交通が、本道路に転換されることによって、安全性が向上
- ・本道路の整備により、各高速道路の代替路としての機能を備えること、物流ルートを選択肢が増えることも期待される
- ・道路計画段階では、対象地域で地すべり等のリスクを抱える地質が分布していることに留意すべき
- ・対象地域の道路における事故発生箇所や歩道整備状況を整理していただきたい

（3）今後の進め方について

- ・事務局提案のとおり優先区間の設定に向けた検討を進めて問題ない